

「石油コンビナート等防災施設の耐災害性の確保のための 経年劣化に伴う点検基準等のあり方に関する検討会」の発足

設置から一定期間が経過した防災施設の耐災害性を確保するための点検基準等のあり方を検討する「石油コンビナート等防災施設の耐災害性の確保のための経年劣化に伴う点検基準等のあり方に関する検討会」を発足することとしましたのでお知らせします。

1 背景・目的

大量の石油、高圧ガスが貯蔵・取扱いがなされている石油コンビナート地区では、災害の拡大防止のための防災施設（消火用屋外給水施設、流出油等防止堤等）の設置が特定事業者に義務付けられています。

これらの防災施設は、その設置から相当の期間が経過したものが多くなってきていると考えられ、また、南海トラフ巨大地震や首都直下地震等の発生が懸念されている中で耐災害性の確保がなされない場合はその機能に支障が生じる可能性もあります。

このような状況を踏まえ、「石油コンビナート等防災施設の耐災害性の確保のための経年劣化に伴う点検基準等のあり方に関する検討会」を発足します。

2 主な検討内容

- ① 消火用屋外給水施設について、設置から一定期間が経過したものの耐災害性を確保するための点検基準等のあり方
- ② 流出油等防止堤等の目地部について、設置から一定期間が経過したものの耐災害性を確保するための点検基準等のあり方
- ③ その他機能維持のために必要な対策

3 スケジュール等

平成25年8月9日(金)に第1回検討会を開催する予定です。

場所：中央合同庁舎7号館西館 13階1320共用会議室

4 検討会委員

別紙委員名簿のとおり。



| | |
|-------|--------------|
| (連絡先) | 消防庁特殊災害室 |
| 担 当 | 古澤課長補佐、瀧下係長 |
| 電 話 | 03-5253-7528 |
| FAX | 03-5253-7538 |

石油コンビナート等防災施設の耐災害性の確保のための
経年劣化に伴う点検基準等のあるり方に関する検討会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

| | | |
|----|-------|--|
| 委員 | 石井 俊昭 | 石油連盟 環境安全委員会 安全専門委員会 消防・防災部会長 |
| 〃 | 伊藤 英男 | 危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター長 |
| 〃 | 岩岡 覚 | 電気事業連合会 工務部 副部長 |
| 〃 | 大谷 英雄 | 横浜国立大学 教授 |
| 〃 | 緒方 啓一 | (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油備蓄部 環境安全課 担当調査役 |
| 〃 | 貝吹 清 | 市原市消防局 火災予防課長 |
| 〃 | 亀井 浅道 | 元横浜国立大学 特任教授 |
| 〃 | 古河 大直 | (一財) 全国危険物安全協会 業務部長 |
| 〃 | 次郎丸誠男 | 元消防研究所長 |
| 〃 | 高橋 俊勝 | 川崎市消防局 予防部 危険物課長 |
| 〃 | 田代 正則 | (一社) 日本消火装置工業会 技術委員会 副技術委員長 |
| 〃 | 西 晴樹 | 消防庁 消防大学校 消防研究センター 火災災害調査部 原因調査室長 |
| 〃 | 宮代 徹 | 横浜市消防局 予防部指導課長 |
| 〃 | 八木 高志 | 危険物保安技術協会 土木審査部 次長 |
| 〃 | 吉田 一史 | 石油化学工業協会 保安専門委員会 消防防災専門委員長 |